



## 個人企業 都道府県別1企業当たりの年間売上高 第1位は愛知県

### 2025年（令和7年）個人企業経済調査結果の概要

#### 1 営業状況

##### （1）産業別営業状況

2024年の1企業当たりの年間売上高は1398万9000円で、前年（1376万3000円）に比べ1.6%の増加となっている。年間営業利益は218万円で、前年（212万8000円）に比べ2.4%の増加となっている。

産業大分類別に1企業当たりの年間売上高の前年比をみると、最も増加したのは「生活関連サービス業、娯楽業」で6.4%の増加、次いで「宿泊業、飲食サービス業」が3.2%の増加などとなっている。

1企業当たりの年間営業利益は平均約218万円。前年比をみるとわずかなプラス。最も増加したのは「宿泊業、飲食サービス業」で13.8%の増加、次いで「卸売業、小売業」が5.9%の増加などとなっている。

なお、1企業当たりの年間営業利益率（売上高に対する営業利益の割合）をみると、「その他のサービス業」が30.6%と最も高く、産業別1企業当たりの年間売上高が最も多い「卸売業、小売業」は6.7%と最も低くなっている。

##### （2）都道府県別1企業当たりの年間売上高都道府

(千円)		
1	愛知県	16,818
2	三重県	16,165
3	福岡県	16,146
4	滋賀県	16,133
5	茨城県	16,077
6	大阪府	16,057
7	東京都	15,771
8	兵庫県	15,364
9	京都府	15,222
10	奈良県	15,004

県別に1企業当たりの年間売上高をみると、愛知県が1681万8000円と最も多く、次いで三重県が1616万5000円、福岡県が1614万6000円、滋賀県が1613万3000

円、茨城県が1607万7000円などとなっている。産業別に都道府県別1企業当たりの年間売上高をみると、産業別1企業当たりの年間売上高が最も多い「卸売業、小売業」では、愛知県が3812万6000円と最も多く、次いで神奈川県が3495万8000円などとなっている。

##### ■産業、都道府県別

##### 1企業当たりの年間売上高（上位5位）

建設業 (千円)			製造業 (千円)		
1	沖縄県	25,854	1	奈良県	19,229
2	和歌山県	23,776	2	兵庫県	17,773
3	大阪府	22,947	3	大阪府	15,609
4	奈良県	22,943	4	沖縄県	14,327
5	福岡県	19,788	5	和歌山県	13,923

宿泊業、飲食サービス業 (千円)			生活関連サービス業、娯楽業 (千円)		
1	富山県	16,168	1	滋賀県	11,871
2	佐賀県	13,627	2	京都府	8,834
3	愛知県	12,967	3	東京都	7,445
4	京都府	12,688	4	群馬県	6,945
5	福井県	12,590	5	茨城県	6,928

卸売業、小売業 (千円)			その他のサービス業 (千円)		
1	愛知県	38,126	1	東京都	15,302
2	神奈川県	34,958	2	愛知県	12,085
3	茨城県	34,181	3	神奈川県	12,047
4	三重県	33,200	4	大阪府	12,014
5	埼玉県	33,047	5	茨城県	11,151

## 2 構造的特質

### (1) 事業主の年齢の状況

事業主の年齢階級別に企業の割合をみると、70～79歳の企業の割合が31.8%と最も高くなっている。また、70～79歳と80歳以上の年齢階級を合わせた70歳以上の企業の割合をみると、46.0%と全体の約半数を占めている。

産業別に事業主の年齢が70～79歳の企業の割合をみると、「建設業」が37.0%と最も高く、次いで「製造業」が34.9%などとなっている。また、70歳以上の企業の割合をみると、「卸売業、小売業」が50.8%と最も高く、次いで「製造業」が50.2%などとなっている。

#### ■全産業、都道府県別 70歳以上事業主割合

全国平均	46.0%
栃木県	51.5%
群馬県	48.6%
石川県	55.5%
福井県	48.5%
山梨県	46.1%
岐阜県	43.0%
愛知県	38.6%
大阪府	41.0%
奈良県	48.9%

### (2) 後継者の有無の状況

後継者の有無別に企業の割合をみると、後継者がいない企業の割合は82.3%で、前年(81.9%)に比べ0.4ポイントの上昇となっている。

産業別にみると、「生活関連サービス業、娯楽業」が88.8%と最も高く、次いで「宿泊業、飲食サービス業」が86.4%などとなっている。

事業主の年齢が70歳以上の企業についてみると、後継者がいない企業の割合は74.1%で、前年(73.9%)に比べ0.2ポイントの上昇となっている。

産業別にみると、「生活関連サービス業、娯楽業」が83.2%と最も高く、次いで「製造業」が80.1%などとなっている。

#### ■産業別事業主の年齢が70歳以上の企業の「後継者がいない」割合

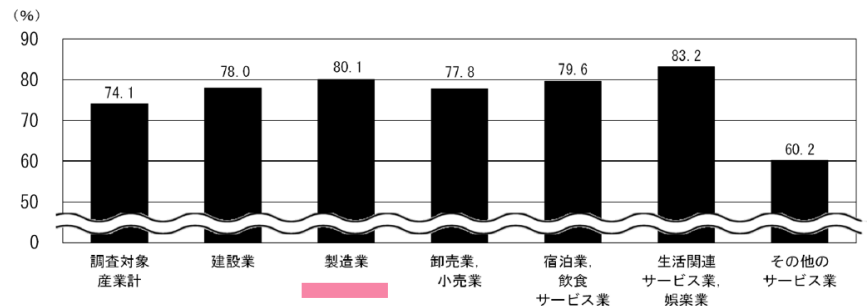
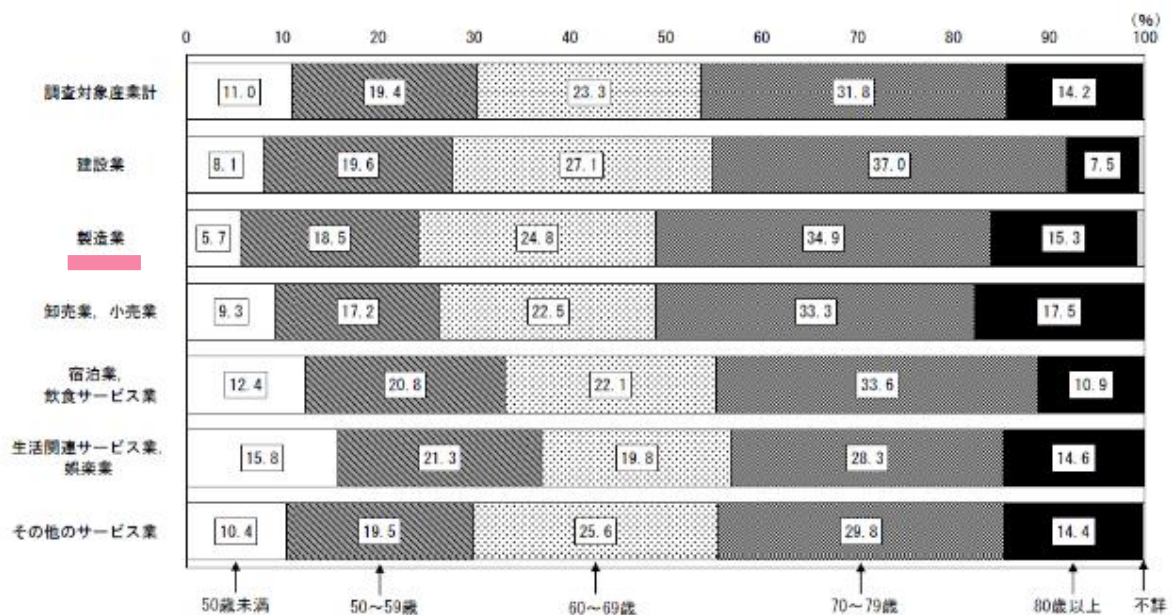


図2-2 産業、事業主の年齢階級別企業割合



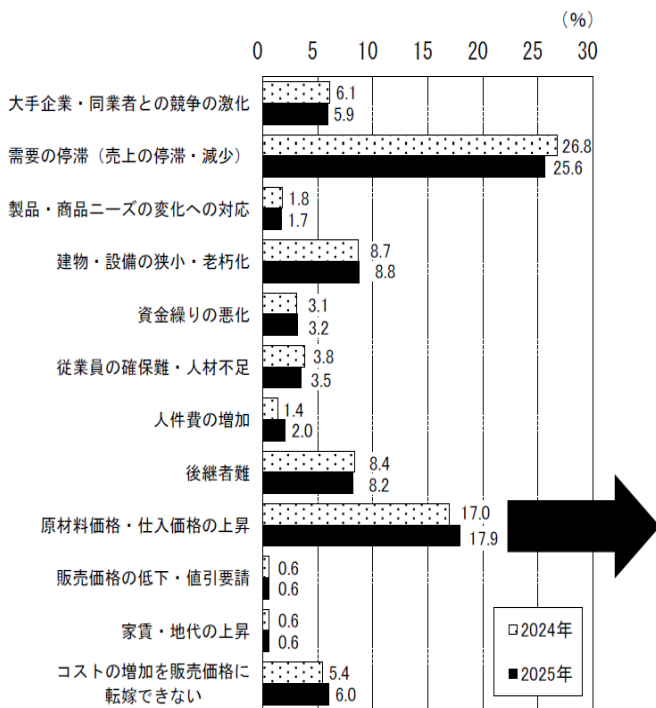
(3) 事業経営上の問題点の状況

事業経営上の問題点として設定している12項目のうち、大きな問題点として一つだけ回答した項目(主な事業経営上の問題点)別に企業の割合をみると、「需要の停滞(売上の停滞・減少)」が**25.6%**と最も高く、次いで「原材料価格・仕入価格の上昇」が**17.9%**などとなっている。

2025年6月1日現在の主な事業経営上の問題点について、項目別にみると、「原材料価格・仕入価格の上昇」とした企業の割合は、前年に比べ**0.9**ポイントの上昇と他の主な事業経営上の問題点を選択した企業の割合の変化と比べ上昇幅が最も大きくなっている。

また、産業別に「原材料価格・仕入価格の上昇」とした企業の割合について2021年以降の推移をみると、全ての産業で上昇傾向となっており、特に「宿泊業、飲食サービス業」では、2021年から2025年にかけて**33.6**ポイントの上昇となっている。

■ 主な事業経営上の問題点別企業割合の前年比 (調査企業計)



個人企業は、深刻な高齢化と後継者不足に直面しており、構造的な課題を抱えています。

※調査対象は全国の個人企業約170万社のうち、特定の産業を除いた約4万社です。



出典：国土交通省 HP より

「ものづくり日本大賞」は、製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、「ものづくり」に携わっている各世代の人材のうち、特に優秀と認められる人材を顕彰するものです。本賞は、経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省が連携し、平成17年より開催しており、今回で10回目を迎えます。繊維関係の受賞者を紹介します。

《内閣総理大臣賞(8件(25名))》福井経編興業(株) 異業種間連携と歴史ある技術の組合せによる革新的な医療材料の開発

【所属企業】福井経編興業株式会社、学校法人大阪医科薬科大学、帝人株式会社、帝人メディカルテクノロジー株式会社

国内の医療品産業が縮小する中、培ってきた経編技術をいかして医療分野への進出を果たしている。開発した心臓・血管修復パッチ「シンフォリウム®」は患者の組織に置き換わり、成長に追従可能な伸張を有する革新的な製品で、先天性心疾患の手術に既存材料を使用した場合に発生する再手術のリスクの低減が期待できる。

受賞件名	異業種間連携と歴史ある技術の組合せによる革新的な医療材料の開発		
受賞者	たかぎ よしひで 高木 義秀 他6名	所在	福井県福井市
所属企業	福井経編興業株式会社 他3団体	企業規模	中小企業

案件の概要

コア技術である経編技術をいかして、**大企業と大学の産学連携**で、体内で吸収される糸と吸収されない糸を特殊な方法で編んだ心臓・血管修復パッチ「シンフォリウム®」を開発。患者の組織に置き換わり、成長に追従可能な伸張を有する革新的な製品で、先天性心疾患の手術に既存材料を使用した場合に発生する**再手術のリスクの低減が期待できる**。2024年に商品化され、患者への使用が開始された。**心疾患患者の負担を軽減**し、家族や医療関係者にとって悲願の製品である。

手術前、手術直後  
架橋ゼラチン膜により手術時の縫合や血圧に耐える機能を発揮

手術3か月後以降  
架橋ゼラチン膜が自己の組織と置き換わりながら分解し、自己の組織が血管壁形成

手術2年後以降  
吸収性糸が分解し、非吸収性糸が伸張性を持つ構造に変化

## 《優秀賞受賞者（22件 111名）》㈱小倉縞縞

立体的なたて縞模様や、木綿糸と再生ポリエステル糸によるサステナブルな生地の開発など、常に時代のトレンドやライフスタイルに合わせて進化を続けています。特筆すべきは、シンプルなたて縞をベースとしたデザインの、無限の可能性。現在もファッションやインテリアデザイン、大規模な建築物の空間演出、アーティスティックなインスタレーションなど、国内外の様々な現場で人々を魅了しています。

受賞件名	「小倉織」の量産化・内製化による独自生地の開発及び関連製品の市場拡大		
受賞者	ついき みお 築城 弥央 他4名	所在	福岡県北九州市
所属企業	株式会社小倉縞縞	企業規模	中小企業

**案件の概要**

小倉織は経糸の密度が緯糸の約2倍以上もあり、地厚で丈夫、しなやかな質感の綿織物で、立体的で美しいたて縞のグラデーションが特長だ。江戸時代から続き、昭和初期に一度途絶えたが、**手織りにより再生**。2007年、機械織りによる量産化(外注)に成功した。より広い分野での展開を模索する中で、外注では新たな生地をタイムリーに開発することに限界があり内製化を決意。2018年に工場を設立。現在は、小倉織だけでなく、その伝統技術を基に、ウールと木綿の自然素材を組み合わせた**オリジナル生地の開発・製造**も行い、革新的なインテリア向けファブリックとして**国内外で新市場の開拓**を進める。



## 新築建築物の環境性能に関するデータ

### ■省エネ基準適合率(令和6年度)

○住宅

	適合率
全体	92.3%
大規模	95.2%
中規模	87.2%
小規模	94.3%

○非住宅

	適合率
全体	99.6%
大規模	(適合義務化)
中規模	(適合義務化)
小規模	96.1%

### ■ZEH・ZEB基準の水準の省エネルギー性能への適合率(令和6年度)

○住宅

	適合率
全体	60.1%
大規模	69.2%
中規模	48.6%
小規模	63.5%

○非住宅

	適合率*
全体	39.7%
大規模	48.3%
中規模	22.2%
小規模	25.0%

\* ZEB水準省エネ性能：用途に応じて再エネルギー率BEI=0.6/0.7、小規模は再エネルギー率0.8（絶対計画における2030年度以降の新築目標）

### ■新築戸建住宅の太陽光発電設備設置率(令和6年度)

40.0%

省エネ基準は主に以下の2つです。

#### ①一次エネルギー消費量基準

住宅や非住宅が1年間に消費するエネルギーの総量。冷暖房、給湯、照明、換気などのエネルギー消費が含まれる。BEI (Building Energy Index) という指標で判定され、数値が低いほどエネルギー効率が良いことを示す。

#### ②外皮性能基準

住宅の窓や壁などの外皮（外側の部分）の断熱性能や日射遮蔽性能に関する基準。

UA値（外皮平均熱貫流率）とηAC値（冷房期の平均日射熱取得率）で評価。地域区分ごとに基準値が設定。

住宅は上記2つの基準両方、非住宅は一次エネルギー消費量基準への適合が求められます。

#### ZEH省エネ性能基準

強化外皮基準への適合基準一次エネルギー消費量から20%以上の削減、再生可能エネルギーの導入

上記により基準一次エネルギー消費量から100%以上の削減

#### ZEB省エネ性能基準

高効率な設備導入で大幅な省エネルギー化を実現し、太陽光発電などで消費エネルギーを賄うことで、エネルギー消費量の収支を実質ゼロにすること。

建築物省エネ法により、2025年4月から全ての新築住宅や非住宅に省エネ基準への適合が義務付けられます。また、2030年には新築住宅の平均でZEH基準の水準の省エネ性能が確保されていることを目指しています。